

# なまこん信州

第85号  
Namacoon Shinshu  
2023.2.28  
(令和5年)

URL:<http://www.nr-coop.server-shared.com> E-mail:[nr-coop@muse.ocn.ne.jp](mailto:nr-coop@muse.ocn.ne.jp)



浅間山

## 目次 contents

理事長ごあいさつ	2
令和4年度品質管理監査について	3～7
コンクリート診断士・主任技士・技士合格者	7～9
高校生生コン製造・打設実習授業等協力事業	10
北から南から	11
事務局だより	12
編集後記	12

発行所  
長野県生コンクリート工業組合  
〒381-2213  
長野市広田48番地神明第1ビル5階  
☎026-283-8712  
発行責任者 山浦友二  
奥山印刷工業株式会社

# 理事長ごあいさつ

長野県生コンクリート工業組合 理事長  
長野県生コンクリート協同組合連合会 会長

山 浦 友 二



組合員の皆様には、日頃から工業組合並びに協同組合連合会の事業運営に格別のご理解、御協力を賜っておりますことに心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきており、ウィズコロナの考え方から感染対策もここにきて大きく緩和されつつあります。これ

までの対策により、私たちの日常生活も様々な形で制約を受けてきましたが、ようやく明るい兆しが見えてまいりました。

組合運営においては、本年度に入り各種会議や研修会、セミナーなど、徐々に通常の形に戻して開催してきています。組合員相互の理解を深め、円滑な組合運営を行うっていくためには、組合員が直接顔を合わせてコミュニケーションをとることが、何より必要と感じていたからです。

今後、感染対策の緩和がさらに進む方向にあります。完全とは言えないまでも、経済活動を含め

て流行以前の状態に一日も早く近づき、戻ることを期待しています。さて、本年度もあと残りわずかとなってまいりました。本年度の出荷量は停滞気味の公共事業に比べ、民間需要が好調に推移したことから、1月末現在で一一九万二千㎡（前年度比一〇五・四％）となり、最終的には前年度並み以上の出荷量が期待できる状況にあります。

一方でセメント、骨材などの原材料の値上げが再度表明されているほか、電気料金などのエネルギー価格高騰などに加え、長期的な出荷量の減少などにより、生コン販売価格への転嫁を余儀なくされておられ、業界における経営環境は非常に厳しくなつてきています。組合といたしましては、組合員の経営の安定を第一に、関連する業界、団体とも一層の連携を図

り、引き続き、国や県に対して、生コン需要の拡大につながる公共事業費の大幅な増額と併せ、値上げに伴う設計価格への早期反映や山間地域等の割増加算の実現について、ねばり強く要請していきたいと考えています。

また、「価格に見合う品質」であることの重要性に鑑み、更なる技術力向上を図るため、組合員各位のご協力をいただきながら品質管理監査による品質の維持向上と技術研修会や講習会の開催、工場に対する技術支援なども積極的に取り組んでいきたいと思っています。今後とも組合員の皆様には、組合に対する一層のご支援をお願いする次第です。

終わりに、組合員の皆様のますますのご発展とご活躍をご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

## 令和4年度

## 品質管理監査について

長野県生コンクリート品質管理監査会議議長

大上 俊之

長野県生コンクリート品質管理監査会議の議長として本年度の総括を述べさせていただきます。実況は、通常監査として、前年度より一プラント減の69工場69プラントを実施しました。査察は、全国基準に照らし、前年度合格証交付工場の1割以上を実施することと、8工場を実施しております。また、査察については、全工場に議長あるいは副議長が立会うこととし、実施してまいりました。

結果の審議は去る12月12日に開催した第3回品質管理監査会議において全工場の監査合格と査察の適合を承認しました。詳細については1月31日の監査報告会において報告を行ったところです。本年度は前年度に引き続きコロナウイルス対策を取っての監査方式の中、

書類審査においては対面式での監査実施となりました。これにより新たな問題点も散見することとなりましたが、品質管理の基本である、改善・計画・運用・評価のサイクルを進め、問題点の改善を推進してまいります。ご協力をお願いいたします。

令和4年度品質管理監査の方針を「指導要望事項の削減及び早期改善と呼び強度比の維持」、及び「品質管理に対する意識の向上」として前年度同様に進めてまいりました。結果の詳細につきましては、令和4年度報告書に記載された通りですが、ここでは本年度の成果報告と、今後の取り組みについての考えを申し上げます。

本年度の監査方針の結果は、「指導要望事項の削減及び早期改善」については指導要望事項件数

で未達成となりましたが、それ以外の目標は達成となっており、指導要望事項数40件以下の目標に対して57件となり、昨年実績よりは4件減少したものの未達成となっております。内訳の比率はほぼ前年度と同様であり、そのうちの全体の53%を占める総括的事項については、主に記録類の不整合、社員教育、公害防止関係がありました。また、昨年より10%を超える割合になっている実地については、検査不適合、試験手順となっております。

「呼び強度比の維持」については、平均値1・30の目標値に対して1・30の結果で目標を達成しましたが、強度比1・50以上の工場数ゼロの目標に対しては1工場となり、平成27年度以来続いていた目標達成が、本年度は残念ながら未達成となりました。

トータル減点数については、前年度より平均値が減少するとともに、減点ゼロの工場が増加し、それぞれ全体の68%、47工場となっております。また、指導要望事項なしの工場は前年度より3工場増加し、31工場となっております。

指導要望事項に対する改善計画書の一か月以内の提出については、38工場が対象となりましたが、すべてが期限内に提出されました。ただし、提出必須の是正処置報告書未提出により、再提出を求めた工場が3工場あったことなど、周知徹底不足が窺えました。

本年度は対面式での書類審査にて監査を実施したこともあり、コロナ禍での過去2年とは少し違った監査になったと思います。その中で新たな気付きであったり改善



表-1 指導・要望事項の詳細

指導内容	件数	詳細 (不備部分の説明)	
記録類	6	書式、記録不整合 議事録不整合、改正記録不備	
社員教育	5	力量評価不整合	
公害防止	5	規定と点検表の不整合 マニフェスト誤記入	
不適合管理	4	規定と記録の不整合 予防処置の検討	
外部文書	4	最新版管理	
苦情処理	3	再発防止策の評価	
品質方針	1	各部署の品質目標	
社内規格改正配布	1	配布管理不備	
外注管理	1	契約書紛失	
小計	30		
材料	受入れ・チェック	3	セメント、骨材、混和剤受入チェック不備
小計	3		
配合	標準配合表	1	修正標準配合表の数値丸め不備
技術資料	1	砕石微粒分量の決定根拠	
小計	2		
製品	製品検査・管理図	2	管理線不備 ロット管理不備
小計	2		
設備	製造設備	3	静荷重検査記録紛失 識別表示不鮮明
検査設備	2	検査表ファイリング不備 検査設備管理不足	
小計	5		
工程	製造記録	2	製造記録不備
動荷重検査	2	通常使用しない計量器管理不備	
工程管理	1	温水養生の管理方法不備	
記録類	1	記録類の不必要なチェック	
小計	6		
実地	検査不適合	2	動荷重、スランプ不適合
試験方法	7	試験手順の確認不足 細骨材表面水率の測定誤差	
小計	9		
合計	57		

点が見えた工場もあつたかと思ひます。それらを前向きに捉え、より良い品質管理に繋げていってもraithたいと思ひます。また、品質管理責任者説明会の開催や各支部での研修会、更には各工場での周知教育に関しては徐々に成果は出ているものと考えています。来年度も継続して、これらを実施・推奨してまいりますので、ご協力をお

願いたします。最後に、監査内容の分析結果として指導要望事項の詳細な内容を表-1として示しました。それぞれの項目を自工場の課題として取り組み、改善を進めていただきたいと思います。その他のデータについても、別資料として公表いたしますので、次年度への活用をお願いいたします。

# 品質監査を終えて

長野県生コンクリート品質管理監査会議副議長

遠藤典男

12月12日に第3回長野県生コンクリート品質管理監査会議が開催され、審議の結果、監査と査察を受けた全ての工場で適合と判断されました。1月末に開催された報告会において合格証と適マークが交付されています。ここに監査と査察にご対応された工場関係者の皆様、長野県工業組合の方々に敬意を表します。本年度も年度当初よりコロナ禍での監査と査察が実施されましたが、特段の支障もなく無事、年内に監査・査察とも終了しました。

本年度の監査におきましても、「A総括的事項の調査」に減点が多く、改めて工業組合等より連絡される通知、資料の精査や、社内規定の見直しなどを折に触れ実施いただきました。特に、今年度の減点項目目

についたことは「A0502予防処置」で4工場、「A0504苦情処理」で5工場、および「A0701文書の識別」で5工場となっていることでした。「A0701文書の識別」に関しては、外部文書の管理に関する項目であり、土木学会・建築学会の示方書・仕様書の動向、コンクリート工学会の規準や指針に対しても気配りいただきたいと思ひます。

一方、「A0502予防処置」、「A0504苦情処理」は生コンクリートの品質保証を担保する根幹にかかわる項目であり、社内PDC A (PLAN・DO・CHECK・ACTION) サイクルを円滑、かつ確実に実施することに対応できると考えられます。

さらに、年度当初の「指導要望事項を40件以下とする」の目標に



から国土強靱化や減災に対する社会的ニーズに鑑み、生コン製造に携わる者として良好な製品を安定供給し、社会資本整備の一翼を担うとの自負を忘れることなく、研鑽を積み重ねる必要があると考えます。

### 品質管理監査監査員を終えて

株式会社クミアイ生コン  
勝家 幸盛

対し、57件と目標未達成となっております。本来、指導要望事項は減点の対象も含む広範囲な確認項目であります。より管理の行き届いた製造工程を実現するための、

いわば、監査以上の高みを目指すための提言であり、本件に対する対応は各工場の品質管理を担当する皆様の崇高な目標に支えられており、今後ともご協力のほど、よろしくお願いたします。  
昨今の災害が頻発する国内情勢

令和3年度から2年間監査員を務めさせていただきました。18工場の監査を担当させていただきました各担当工場の皆様の御協力もあり、集中して職務に取り組みたいと思います。また、宮島監査員、川崎主任監査員および工組の関係者の皆様方に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今回、監査員の話があり、不安もありましたが、貴重な経験や、自身のレベルアップのため挑戦しようと思えました。監査前の監査員会議および監査員講習会では、監査方法の基準や監査員としての任務、監査を行う目的および目標

の確認、チェックリストの説明を受け、監査を実施する際は、中立性・公正性を頭に入れ、監査員として取り組もうと思えました。

各工場のプラント、洗車・排水設備および社内規格や試験表など、実際設備や書類に目を通して、工場それぞれの管理方法があり、非常に参考になりました。

試験室の作業場も整理整頓、仕事を効率よくこなせるよう様々な工夫や管理を拝見でき参考になることばかりでした。

実地検査では、試験方法を熟知し、水平の確認、迅速な試験手順など、とても素晴らしく思いました。この2年間で18工場の監査を行い、私は、監査員をしつかり全うできたのか不安はありますが、皆様のおかげで、豊富な知識が身についたと思っております。2年間ありがとうございました。

### 品質管理監査監査員を終えて

株式会社高宮組 生コン部  
正澤 弘之

2年間の監査員業務を終え、振り返ってみると、お邪魔させて頂

いた各工場の皆様が、品質管理監査に対し真摯に向き合い、品質管理業務を遂行されている姿が印象に残っています。監査の数日前から当日にかけて、実地検査のリアルサルに余念がなかったという事も手に取るように感じられました。本番では生コン車から出てくる生コンの顔を見るまでドキドキだったでしょう。エアメータの針が合格値で止まった時はホッとしました。

何事もなく監査当日の日程が終了し、監査員が工場を後にした時は、肩の荷が降り熟睡出来た事でしょう。このような感覚を覚え監査を乗り切った方々は、その感覚を忘れないよう常に初心に立ち返り、日々の業務に邁進するよう切望いたします。何十年も監査を経験したベテランの方々は、この感覚を既に何処かに置き忘れてしまっているかもしれません。後進の方々の為にも今一度監査に対する心構えを思い出し、助言、指導をして頂き、より良い工場を構築して頂くよう願います。  
末筆ではございますが、監査実

施工場の皆様、工業組合の皆様、監査業務に理解を示していただいた当社高宮組の方々に対し厚く御礼申し上げます。

## 監査員の任期を終えて

株式会社大和興業

小原道彦

令和3年度から務めさせていただいた監査員の任期2年が、本年度をもって無事に終了しました。

任期中の2年間で17工場にお伺いさせていただきましたが、期間を通して新型コロナウイルス感染防止対策の中での監査となり、とりわけ1年目については、書類審査を対面式ではなく監査員のみで行う形となった為、監査前はチェック漏れ等を感じないようにと若干の不安を感じてはいました。

しかしながら蓋を開けてみればその不安は皆無であり、当然の事ながら各工場共に社内規格及び帳票類等は整然と整備されていまして、全体の流れを掴みながら各チェック項目をじっくりと確認する事ができました。ただし、そのような方法で有るが故にどうして

もチェックに時間がかかってしまい、皆様の中には、まだ終わらないのか、何か問題でもあるのかと心配された方々も少なからずいらっしゃったかと思えます。お許しください。

今回、監査する側として、受ける側の皆様の良い意味での緊張感を肌で感じる事ができました。特に次世代を担う若い技術者の方々の品質管理に取り組む姿勢とその熱意はとて高く感じられましたので、今後機会があれば監査員を是非経験していただき、更に見聞を広めていただければと思います。最後になりましたが、各工場並びに工組関係者の皆様のご協力とご指導に感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 監査員を終えて

株式会社塩沢産業生コン事業部佐久工場

山本敏明

この度、2年間監査員を務めさせて頂き、良い経験をさせて頂いたと思っております。

監査前は不安な要素ばかりでしたが、事前の監査研修で内容ついで丁寧な説明がなされ、特にス

ラッジ水使用の管理方法など疑問点を解消することが出来ました。早速、初めての工場がスラッジ水を使用している工場であり、細骨材の表面水率測定同様、スラッジ濃度測定の見直しを行いました。研修で事前に理解できていたので、戸惑いがなく検証することが出来ました。

また、監査を積み重ね気付いた点として、どの工場も変わらない管理内容であるだろうと思っていました。各工場、管理方法や配合など相違があることに気付きました。良い管理は自分の工場にも取り入れていこうと思ひ、参考となる事もありました。配合では天然骨材の砂利、砂と砕石、砕砂と水セメント比、細骨材率、単位水量など違いがはつきりと分かりました。私の工場では砕石、砕砂を使用していることから、天然骨材の配合と比較すると水セメント比、細骨材率、単位水量は大きめです。その数値の差にも勉強になりました。

県内さまざまな地域の工場の監

査を経験できたことは貴重であり、これから私達の工場の品質管理にも活かしていきたいと思ひます。

また、川崎さんはじめ、多くの関係者の方々には大変お世話になりました。有り難うございました。

## 監査員を経験して

飯栄建設協同組合

阿部賢一

令和4年度の1年間ではありましたが監査員を務めさせていただきました。私自身12年ぶり2回目の監査員でしたが、12年も経過すると以前の経験値など皆無といつてもいい状態からの再スタートとなりました。

さて、監査を通じて感じたことは、どの工場も品質管理に誠心誠意取り組まれ、準備万端で進められていることでした。実地検査ではスランプ・空気量試験が無事許容差内に収まるまで私も大変緊張しました。今年度の書類審査は対面式で行われたため、愚問に対しても真摯に回答していただき、質問した私の方が赤面してしまう場面も度々ありました。実地検査や

書類のまとめ方など私の工場でも参考にさせていたただく部分が大きいにあると感じました。

私事ではありますが、今年度忘れられない3日間がありました。その1日目はグループ生コン工場の定期維持審査に立会い、2日目は当社の維持審査、3日目は監査員として監査に向いたことです。緊張緩和のせいか3日目の私の精神状態は正常ではなくS生コンK工場の皆さん並びにM工場長に多大なご迷惑をお掛けしてしまいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

最後になりましたが、担当させて頂いた9工場の皆さん、川崎主任監査員並びに立会い頂いた皆さんのご協力に感謝申し上げます。今後も品質の安定した生コンを提供できるよう努めていきたいと思えます。



## 令和4年度 コンクリート診断士・主任技士・技士 合格者名簿

### ☆コンクリート診断士合格者(2名)

大北支部 横川 正次 白馬小谷生コン(株)  
上伊那支部 五味 敦 (株)伊那生コンクリート工業伊那工場

### ☆コンクリート主任技士試験合格者(3名)

安筑支部 和澤 寿浩 マルモ生コン(株)  
上小支部 丸山 皓文 (株)シナノ生コン上田工場  
上水支部 宮島 勇耶 宮島産業(株)

### ☆コンクリート技士試験合格者(20名)

大北支部 飯塚 大平 白馬小谷生コン(株)  
柳澤 健 (株)クミアイ生コン  
安筑支部 藤井 欣也 マルモ生コン(株)  
上川 孝範 共和アスコン(株)  
松本支部 増澤 裕樹 ヤマサマテリアル(株)  
奥山 和博 第一生コンクリート(株)  
根澤 郁成 昭和産業(株)松本工場  
永治 常夫 (株)吉川工務店大桑生コン工場  
諏訪支部 宮澤 初月 (株)諏訪共同生コン本社工場  
上伊那支部 内藤 浩司 (株)伊那生コンクリート工業伊那工場  
木曾支部 酒井 勝央 (株)大和興業  
諏訪支部 守屋 史健 (株)大和興業  
下伊那支部 河合 竜馬 アザーレミックス(株)  
仲間 達郎 松川・モルセラ(株)本社工場  
松澤 啓太 竜峡レミコン(株)  
梅香 健智 竹花工業(株)小諸生コン工場  
浅沼 健香 (株)黒澤組生コン部  
斉藤 温大 (株)上小共同生コン  
桑原 洋樹 信州生コン(株)中野工場  
長水支部 加藤 章 (株)本久

コンクリート診断士・主任技士

合格者

よるいび

の

声

診断士試験をおえて

白馬小谷生コン株式会社白馬工場  
横川 正次

合格が分かった瞬間つい気持ちが高ぶり「やった!!」と声を出したところ、娘に「うるさい」と言われてしまいました。

毎年、なまこん信州「合格者のよろこびの声」を見るたび、「負けてられない!!自分もいつかは」と受験への意欲を掻き立てていました。

勉強法は、毎年試験問題を見るたび「どっちだっけ?」と、詰め

の甘さがあったので、参考書を持ち歩き、空いている時間1問でも良いので解くことを心掛けました。論文対策は、劣化の要因、対策等の基礎を覚え、苦手な文章の構成は過去問の解答例を参考にし、ひたすら書く練習を行いました。

昨年度より、運輸課に在籍しており良い経験をさせて頂いていきます。運輸課の先輩方には大変良くして頂いており、わからない作業なども親切に教えて頂いております。診断士の合格を伝えた際も「大したもんだ」と仰つて下さり、運輸課の方々に認められるよう、日々知識の習得に励みたいという思いが、より一層強くなりました。合格するのに大事なものは「やる気!!」だと思えます。年齢を追うごとに覚えが悪くなると思いますが、今後もチャレンジすることを忘れないよう日々精進していきたいと思えます。

最後に、勉強に集中できるように家事育児、論文のアドバイスをしてくれた、妻には感謝です。



もう中学生になる子を頭に8人の孫と戯れる67歳の老人です。

受験の準備はふとしたきっかけから始まった。ある日、孫から漢字の書き順が正しくないから字が汚く見えると、鋭く突っ込まれた。その通りで何でも正しい順序、フォームなら美しく見えるものだ。

そこで、過去の敗因と診断士投稿スレッド等から記述に重きを置くこととし、漢字を正しく書くことを念頭に過去十年の建築・土木模範解答を3回ずつ計60回書くことと内7題を録音再生アプリで要点の叩き込みを自分に課した。最初は三日坊主成らず2日で程なく撃沈する日々が続いたが、先日泉下に召されたアントニオ猪木の「この道はどうなるものか 危ぶむなかれ 危ぶめば道はなし 踏み出せばその一足が道となりその一足が道となる 迷わず行けよ 行け

ばわかるさ」の言葉を思い起こし、最低3日は続けようと机に向かった。

折しも冬季五輪の真つ只中、羽生結弦選手の演技後に放った「人生つて報われることが全てじゃないんだな、報われない努力もあるんだな」の言葉が嫌に脳裏に突き刺さり、折れそうになったが、スケボ岡本碧優選手、スノボ岩淵麗楽選手の果敢に挑む姿に心打たれ、漢字(記述)練習は何とか書き倒した。

受験を終えて、日常生活の中のちよつとした物事の捉え方で目指すべき方向や考え方が定まるものだと痛感し、合格に導いてくれた孫に感謝している。



もう、何年になるでしょうか。入社当時、技士に合格して以来十数年、努力と文章を作るといふことを特に苦手とする私にとって、

小論文を有するこの資格は「ハードルの高いもの」という認識となっており、それ故、ある時期からは勉強に身も入らず、只々受験したという実績の為に受験を重ね、その回数も既に両手の指を優に超える数となりました。

一昨年頃からは、新型コロナウイルス対策で出題傾向が変わったらしいと人づてに聞き、この機会を転機にと思い、昨年受験することになりました。結果は不合格に終わりましたが、何処か自分なりに腑に落ちるものがあり、改めて、今年を最後という思いで試験勉強に取り組みました。

勉強方法は、多分皆さんと大体同じかと思えます。過去問題を読み返し、細部に至るまで理解することに時間をかけました。

合格発表を受け、終わってほつとした気持ちと同時に、これまで惰性で進めてきた自分に対して、もっと早くから真剣に取り組むべきだったと少しの後悔も湧きました。

これから受験される皆さんへは、これ程までに努力というものを苦



手とする私でも合格することが出来ました。頑張った分だけ結果が得られる試験だと思えます。是非、頑張ってみてください。

最後になりましたが、長きにわたり資格取得に御支援、御協力してくださった皆様に心よりの感謝申し上げます。有り難うございました。



この度コンクリート主任技士試験に合格致しました、丸山皓丈と申します。

当日は時間ぎりぎりまで夢中で見直しをして、小論文を書き直して机の上が消し滓でいっぱいだったことを覚えています。

私は暗記というものが苦手です。ですので、なぜそうなるかを自分なりにあります。文章の暗記ではなく、知識になるように意識して、仮に分らない問題も知っていること

から推測して解けることを目指して勉強しました。

過去問に関しては、その問題を初めて解く1回目を特に大事にしました。私の場合、反復して解くと内容より正答がどれかだけ覚えてしまうことが多かったからです。ですので、技術の要点等を先に読み、理解できたかどうかの確認として過去問を解くようにしていました。問題数もできるだけ多くを

と思い過去10年分を解くようにしました。

小論文の対策としては、テーマに関する知識を書くだけではなく、テーマの課題に対して自分ならどのような対応するのかを重要視するようにしていました。

最後になりますが、「こういうもの」というのが苦手で、なんでそうなるか知りたがる。そんな面倒くさい性格をしていますので、

入社当時から先輩方には多くの質問に答えていただきました。今回、私が主任技士試験に合格することができたのも、ひとえに私の疑問に対して惜しみなく知識や経験を教えてくださった諸先輩方のおかげ

げです。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。ございました。



### 一、自己紹介及び経歴

私は現在試験室に在籍をしつつ、ドライバーや製造や総務の仕事をしています。

### 二、勉強方法

日本コンクリート工学会が主催している試験ということもあり、工学会が出版しているコンクリートの要点を読み、勉強に取り組みました。読んでいてわからないところがあっても、そこで立ち止まらずに、まずは本を何回も読み返すことを行いました。

また太平洋セメントが主催する講習会にも参加し、模擬試験を行うなど、本番に向けて勉強を行いました。

小論文は、環境対策と長寿命化の2つのテーマで作成し、お取引

のある方々に添削していただきました。自分で小論文を作成することで、業界の現況や課題を知ることができました。

### 三、先輩へのアドバイス

四択問題では、問題文にある「適当」「不適當」に印をつけることをお勧めします。

印をつけることにより、消去法となり、正解する確率が高まると思います。

また当日は小論文を先に解けば、余裕を持って四択に進めると思います。

### 四、感想及び雑感

最後に家族や、子供の頃からお世話になっている方々を始めとした社員の皆様、上水組合やお取引のある方等、応援してくださった方へこの場を借りて感謝申し上げます。

実務以外にも様々なことを勉強し、経験を積んでいきたいです。



# 高校生生コン製造・打設実習授業等協力事業

実施日	場 所	高校名及び学科	授業の内容	生徒参加者数
2022年6月29日 2022年6月30日 (2日間)	(株)吉川工務店 大桑生コン工場	木曾青峰高等学校 森林環境科森林学科 3年	工場見学、生コン各種試験実習、 生コンについての講習	18 人
<p>〈参加した生徒の感想〉 コンクリートは様々な場所で見られるけれど、試験をした安全な製品が使われていることが分かった 〈木曾協組 山田理事長から生徒の皆さんへ〉 生コンの役割を知り、地域を支える生コン企業を将来の活躍の場を選んでもらえたらうれしい</p>				
2022年7月14日	マルモ生コン(株) 明科工場	南安曇農業高等学校 環境クリエイト科 2年	・オリエンテーション ・実習（工場見学、スランプ試験・ カンタブ、空気量試験・供試体作製）	33 人
<p>〈参加した生徒の感想〉 空気量を調べるためだけの機械があることに驚いた。製造過程も細かく、コンクリート作りに対する思いが分かった。 授業では簡単そうに思えたが実際にやってみるととても難しかった。これを正確にこなす現場の方たちを尊敬した。</p>				
2022年9月6日	飯伊綿半生コン(株)	飯田OIDE長姫高等学校 社会基盤工学科 2年	講義（JISについて）、各施設・設備の 見学、操作盤（出荷操作）見学、実地 （生コン試験）	36 人
<p>〈参加した先生の感想〉 実際に工場で説明を聞き、実地研修できることはありがたい。 3年生になると土木施工の選択科目もあり参考になる。</p>				
2022年9月7日	アザーレミックス(株)	飯田OIDE長姫高等学校 建築学科 2年	講義（JIS・セメントについて）、各 施設・設備の見学、操作盤（出荷操作） 見学、実地（生コン試験）	38 人
<p>〈参加した生徒の感想〉 コンクリートは砂と水を練って固めて終わりだと思っていたが、予想していたよりずっと規模が大きかった。 先進的な施設や設備で造られていることが分かり、勉強になった。</p>				
2022年 7月25日 2022年10月28日 (4日間)	竹花工業(株) 小諸生コン工場	丸子修学館高等学校 工業科 3年	丸子修学館高等学校 校門改修工事 (実習を兼ねた自営工事)、工場見学 (7/25、9/9、9/26、10/28)	25 人
<p>門柱制作は、同校の同窓会記念事業の一環として生徒が製作し、同校に寄与する形で公有財産として引き継がれます。 〈竹花工業(株)小諸生コン 掛川工場長から生徒の皆さんへ〉 この経験を社会に出てから生かしてほしい。</p>				

協組の話題

北から

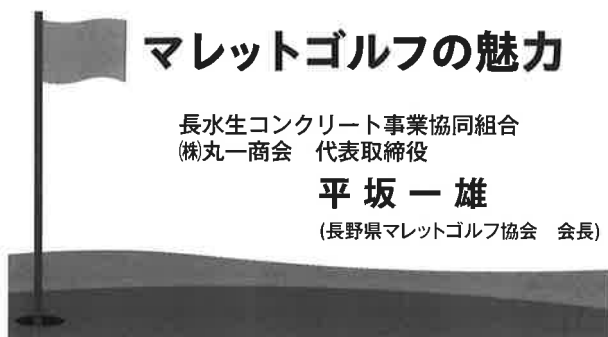
南から

マレットゴルフの魅力

長水生コンクリート事業協同組合  
 (株)丸一商会 代表取締役

平坂 一雄

(長野県マレットゴルフ協会 会長)



マレットゴルフは、昭和52年福井県で誕生しました。その後、昭和56年長野県体育センター専門主事により改良考案され、長野方式として長野県をはじめ多くの県に普及し現在に至っています。つまり発祥の地は福井県ですが、日本全国に普及するきっかけを作ったのは長野県であるということです。

マレットゴルフは、もともとゴルフを基本として考案されていますので、簡単なゴルフと違って良いと思います。異なる点は、ゴルフは空中を飛ばして

からグリーンカップに入れる競技。マレットゴルフは、ショットカットは認められておらず、最初から地面を転がしてカップに入れる競技ということですが、また、ルールは似ており、互いに18ホール、パーは72で同じです。ただ、マレットゴルフはコースの距離が短く、プレー時間も短時間で済みますのではじめてやすいスポーツと言えます。

長野県のマレットゴルフ場は、大小合わせて100コースを超えると言われており全国1位を誇っています。県内市町村では、

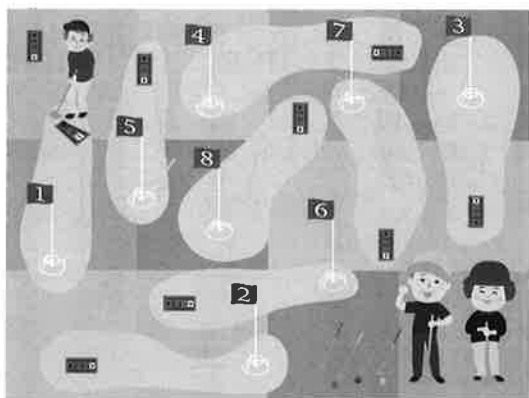
必ず近くにいくつかのマレットゴルフ場があり、プレー代は無料で事前の予約も必要ありません。

「健康長寿で100才を！」と言われていた現在、マレットゴルフを楽しむことによる運動効果は絶大と言われています。また、プレーするにあたりマナーやルールの習得、コース戦略を練ったりスコアの記入や集計等、脳をフル活用するため認知症予防にも最適です。4人でプレーすることが多いため、仲間との対話によるコミュニケーション力のアップ、そしてなんといってもストレス解消の特効薬でもあります。

マレットゴルフは簡単なようには見えませんが、ゴルフ同様技術面では非常に難しい面もあります。まずは、ボールの芯をスティックの芯に正確に当てられるか、まっすぐな方向に打つことができるか、正確な距離を打つための力加減などの技術が要求されます。試しに、80才を過ぎ腰が曲がって痛い痛いと云っているおじいさんやおばあさんとプレーしてみてください。

ボールはまっすぐに飛び距離はピタリ。上がってみれば10アンダーの62。プレー数をこなし、技術を磨くことで腕を上げていくからますます楽しくなるという好循環です。

マレットゴルフは高齢者のためのスポーツと思われるがちですが、老若男女誰でも気軽に楽しめるスポーツです。職場の仲間とリ克雷ーションとしてプレーしたり、家族で楽しんだりと年齢差を気にせず楽しめます。皆さんも、時間を作って近くのマレットゴルフ場でプレーしてみたらどうでしょうか。きっとその魅力に誘われやみつきになるのではないのでしょうか。



事務局  
だより

## 活動報告・予定

自：令和4年9月  
至：令和5年5月

## 令和4年度

● 9月14日(水)

第4回正副理事長会議

第4回理事会

● 10月1日(土)

第1回技術者養成講習会(安筑)

● 10月13日(木)

第2回技術者養成講習会

(二社)長野県建設業協会

● 10月15日(土)

第3回技術者養成講習会(佐久)

● 10月26日(水)

第5回正副理事長会議

第5回理事会

第39回経営者セミナー

● 11月1日(火)

セメントメーカーと県建設部懇談

● 11月22日(火)

第6回正副理事長会議

(二社)長野県砂利採石業協会との  
懇談会

● 12月12日(月)

第3回監査員会議

第3回品質管理監査会議

● 12月19日(月)

長野県コンクリート舗装技術  
向上研修会

● 12月22日(木)・23日(金)

国土交通省(中南信・県外機関)

挨拶及び要請

● 1月17日(火)

第3回技術委員会

協組技術委員長(部会長)合同会議

● 1月20日(金)

事務局職員研修会

● 1月25日(水)

(二社)長野県建設業協会との懇談会

● 1月26日(木)

第7回正副理事長会議

● 1月31日(火)

第6回理事会

令和4年度品質管理監査報告会・  
技術研究発表会

● 2月10日(金)

県建設部技術管理室長との懇談

● 2月20日(月)

長野県コンクリート技術講習会

● 3月7日(火)

第2回労働安全衛生委員会

労働安全衛生に関する研修会

● 3月18日(土)

品質管理責任者講習会

## 令和5年度

● 4月27日(木)

第1回正副理事長会議

第1回理事会

工組・協組連会計監査

● 5月23日(火)

第2回正副理事長会議

第2回理事会

工組・協組連通常総会

## 編集後記

今年度も重要なニュースは数多くありましたが、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけについて、政府の対策本部は、

5月8日に今の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を決定しました。

当工業組合・協同組合連合会では、昨年度まで各種研修会・講習会を縮小又は中止としてきましたが、今年度からほぼ例年通り開催し、多くの皆様のご出

席をいただきました。引き続き、品質の良い生コンの安定供給と需要増加に向けて、組合員の技術力向上及び発注機関に理解を深めていただくための活動を積極的に展開していきたいと思えます。

セメント、骨材等の値上がりやエネルギー価格の高騰など、生コン業界も厳しい状況が続きますが、組合としては各組合員・支部・協組との連携を一層密にし、行政や関連する業界・団体等の動向等に関する情報の収集に努め、提供して参りますので、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。